2026年９月９日

各　位

会 社 名　　コンバム株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　佐藤　穣
（コード番号：６２６５）
問合せ先　　専務取締役　　國松　孝行
（TEL．03－3759－1491）

中期事業計画の策定に関するお知らせ

当社は、2032年に向けた長期ビジョンの実現を見据え、更なる事業基盤の強化と持続的な成長の実現を目的として、2027年12月期を初年度とする中期事業計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては添付資料をご参照ください。

新中期事業計画

『2027年12月期～2029年12月期』
2032年長期ビジョン実現への基盤づくり

【真空機器＋
素材のハイブリットメーカーへ】

CONVUM
Supporting Industries with Inspired Creations

コンバム株式会社

証券コード：6265/東証スタンダード

2026年9月9日

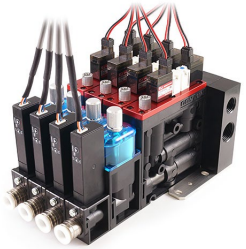
コンバムがつくるもの

真空吸着技術を核に、産業の「つかむ、運ぶ」を支える

真空を発生させる技術から、吸着・検知・ハンドリングまで、さまざまな産業の自動化・省人化に貢献しています。

真空エジェクタ

21シリーズ
37,000品目



圧縮空気で真空を発生させ
真空をつくります。

真空吸着パッド

27シリーズ
10,000品目

多品種で多種多様なワークに
対応し、確実に吸着します。

圧力センサ

12シリーズ
1,000品目

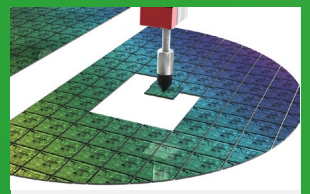
リアルタイムで検知し
真空吸着状態を管理します。

真空ロボットハンド

7シリーズ
1,300品目

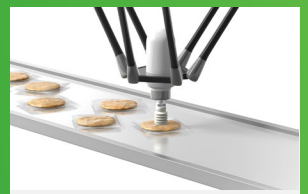
ロボットに直接取付し、
ワークの吸着搬送を行います。

製造・搬送工程の自動化・省人化に貢献



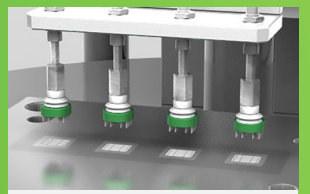
半導体

自動車



食品

物流



電子部品

…

その他産業

経営理念 Management Philosophy

人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます

STICK
WITH
CONVUM

1951年創業⇒2031年創業80年

創業80年に向けてのキャッチコピー

なぜ『Stick With』なのか

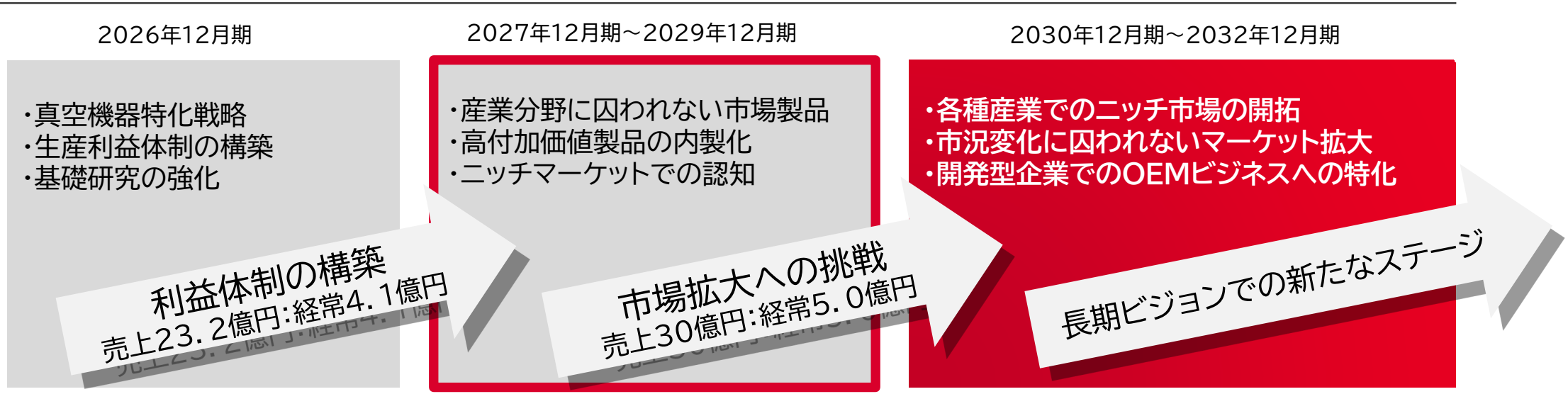
①使いたくなる品質

②顧客のそばを離れないサポート

③技術へのこだわり

中期事業計画の位置づけ

2027年12月期から始まる本中期事業計画は、2032年への長期ビジョンの実現への助走期間。
主力事業の収益力強化及び新規事業の基盤確立への対処です。



・株主目線の経営⇒将来への企業拡大を共に目指す
・生産力強化と新規事業分野の成長戦略⇒顧客利益拡大へ機能部品でサポート

非財務資本	人的資本	基礎技術	特許技術	顧客基盤	ブランド力

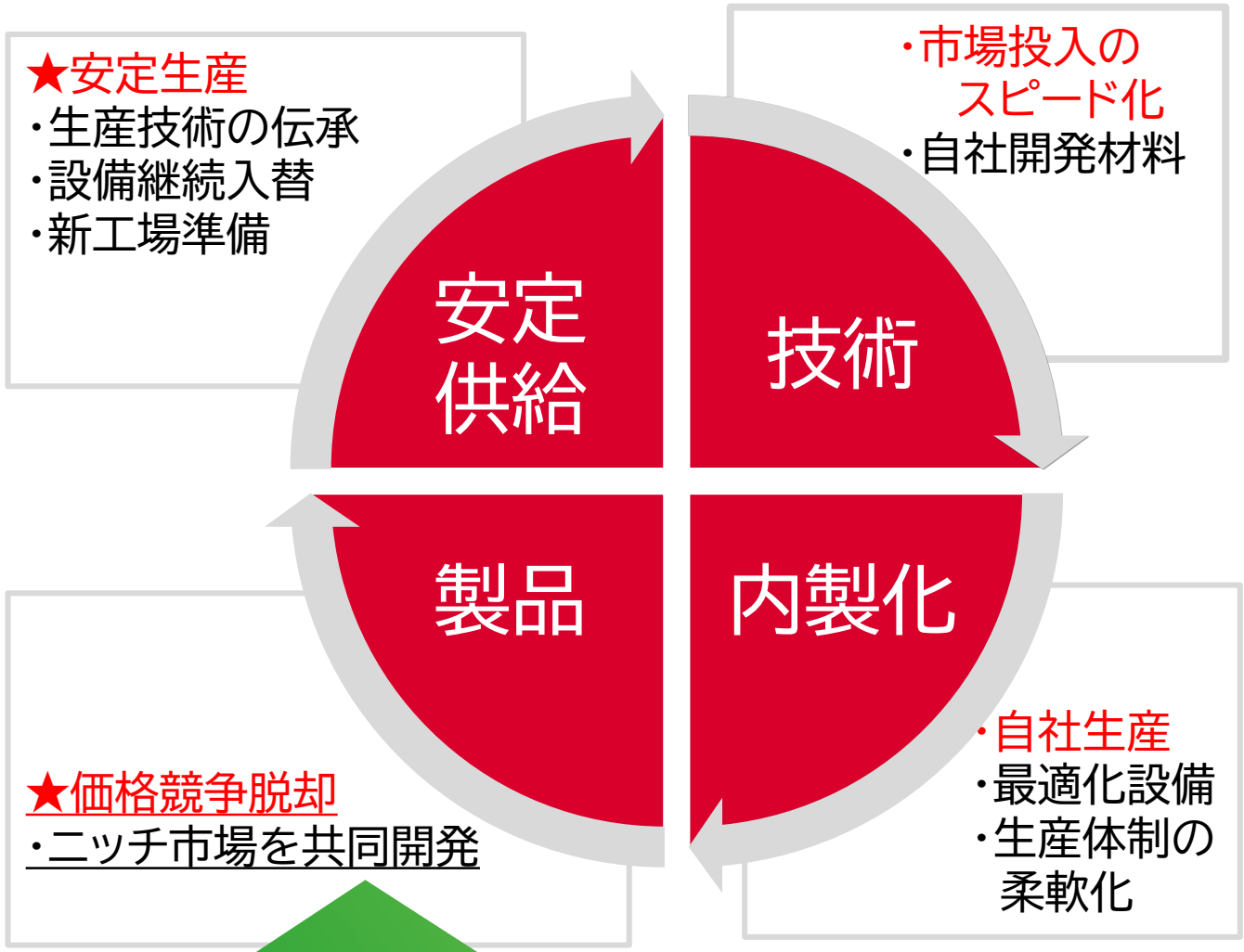
中長期ビジョン

★安定供給
- 多品種少量の最適化生産
- グローバル供給網の確立

★技術
- 市場差別化製品の投入
- 独自ゴム材料研究開発

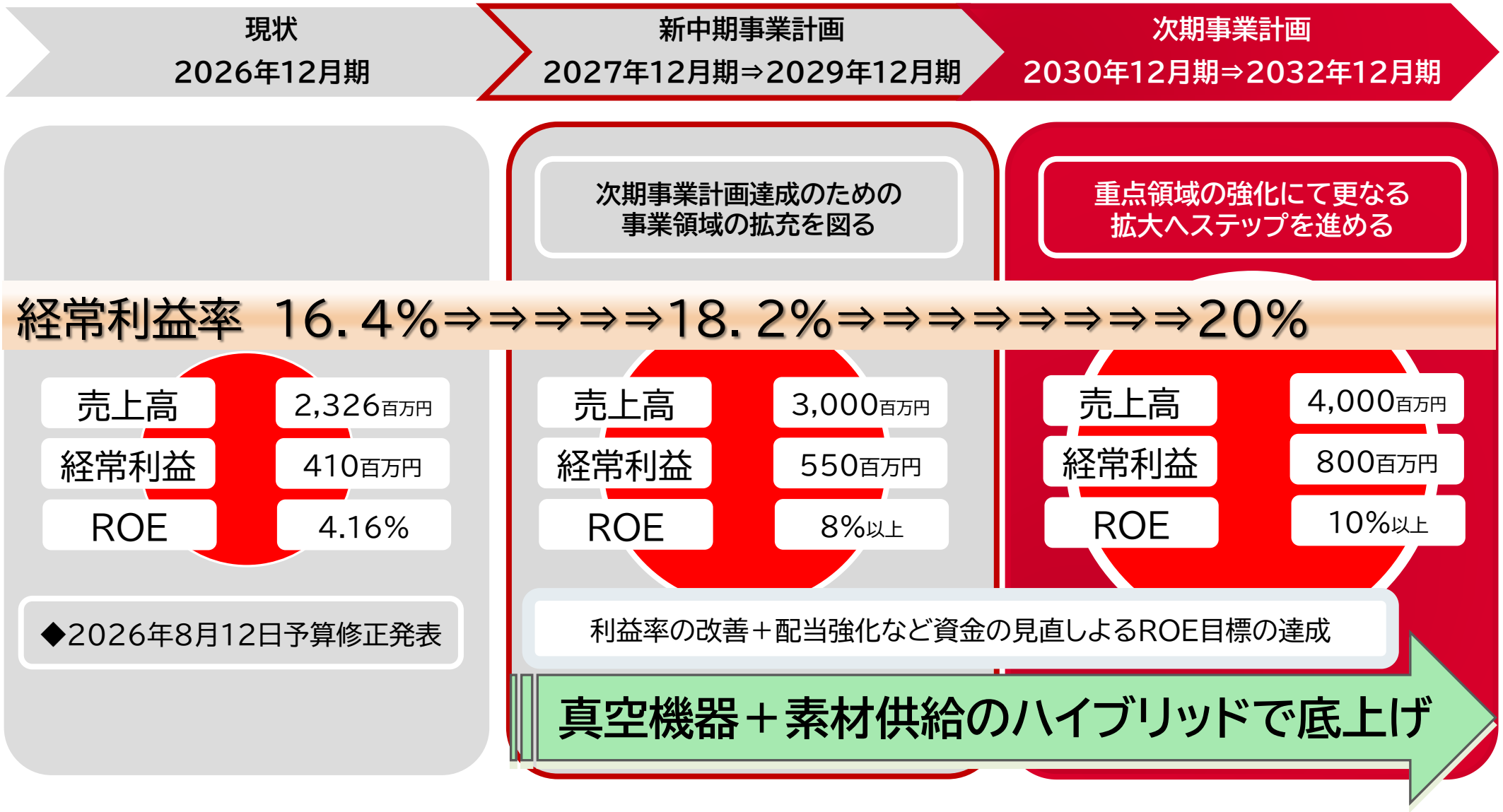
★製品
- 各装置でのニッチ²トップ戦略

★内製化
- 多品種少量生産の自動化
- 安定利益を生むメンテ製品



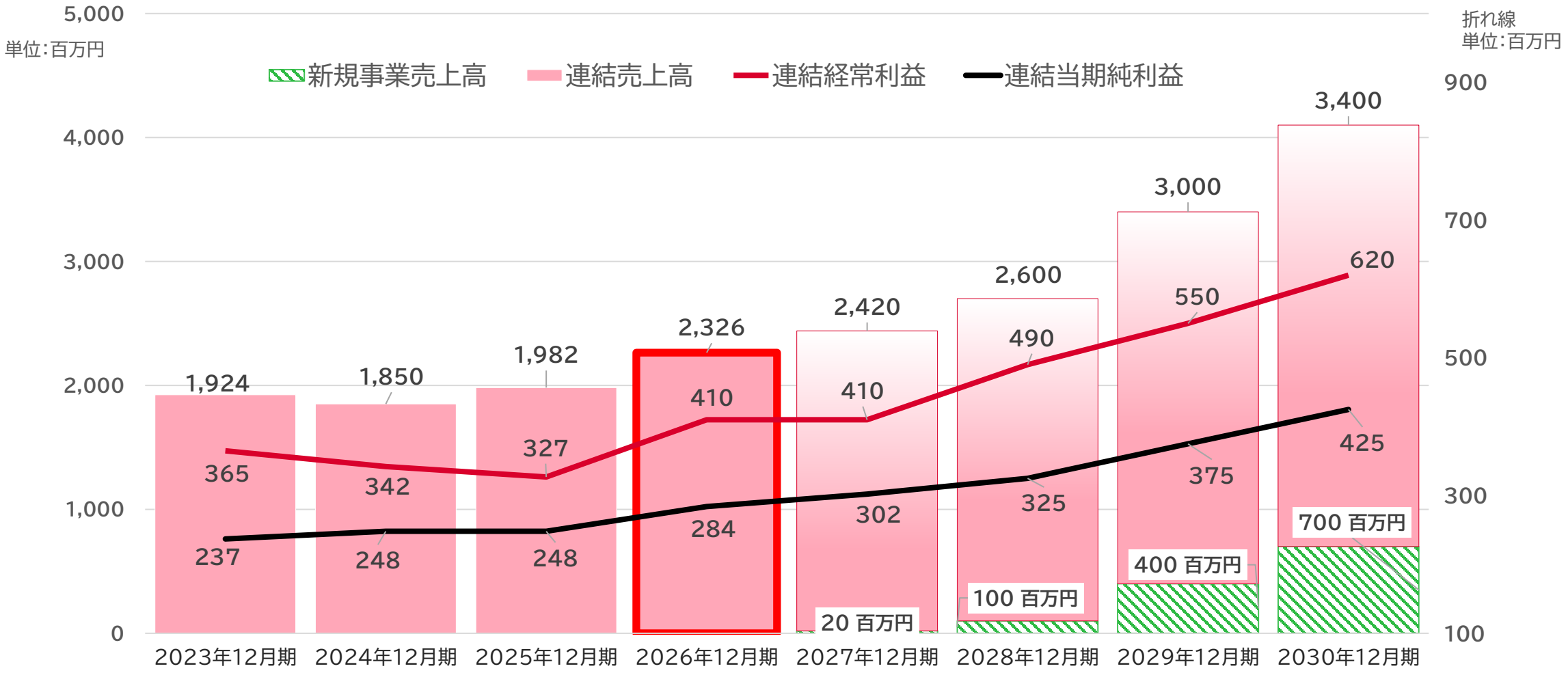
・市場別を設備別に分解　⇒食品包装機、半導体後工程、自動車生産設備、射出成型機取出ロボット、パレタイズ搬送、をさらに細分化し、必需製品を顧客との共同開発で市場シェア拡大
★大手の価格競争と一線を画して、適正価格販売

経営指標


現状
2026年12月期
新中期事業計画
2027年12月期⇒2029年12月期
次期事業計画
2030年12月期⇒2032年12月期
次期事業計画達成のための
事業領域の拡充を図る
重点領域の強化にて更なる
拡大へステップを進める
経常利益率 16.4%⇒⇒⇒⇒⇒18.2%⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒20%
売上高
2,326百万円
経常利益
410百万円
ROE
4.16%
売上高
3,000百万円
経常利益
550百万円
ROE
8%以上
売上高
4,000百万円
経常利益
800百万円
ROE
10%以上
◆2026年8月12日予算修正発表
利益率の改善＋配当強化など資金の見直しよるROE目標の達成
真空機器＋素材供給のハイブリッドで底上げ

中期事業計画　業績推移

2026年8月12日開示　2026年度業績予想修正内容含む



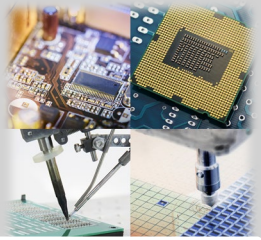
【前提：半導体設備投資の回復継続/海外比率30%/新素材の新規事業は2028年12月期より寄与】

事業戦略：真空機器＋素材のハイブリットメーカーへ

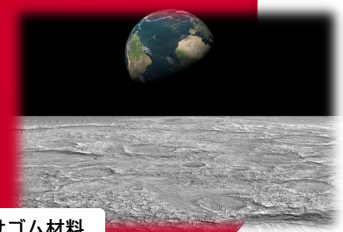
現状 2026年12月期	新中期事業計画 2027年12月期⇒2029年12月期	次期事業計画 2030年12月期⇒2032年12月期
真空機器＋ロボットハンドの特化 ◆既存技術の錬成と熟成	真空機器＋特殊素材市場の拡充 ◆新技術の市場開拓	**真空機器＋素材のハイブリットメーカーへ**
真空機器：ロボット用ハンドの電動化	真空機器：小型化・ユニット化 業界別機種拡大	真空機器：真空機器の環境配慮モデル ヒューマノイドロボットの指先へ
素材研究開発 ・半導体向けESD材料開発販売開始 ・ハイジェニック　素材製品販売開始	素材生産体制確立 ・特殊形状生産 ・クリーンルーム稼働 ・樹脂＋ゴムのハイブリッド	新規事業部門分社化 ・ゴム材料販売 ・オーダーメイド受注 ・耐環境ゴム素材の製品化

電動ロボットハンド

ロボット用吸着キット


半導体向け特殊材質パッド

食品医薬品向け材質パッド


特殊環境向けゴム材料

株主還元

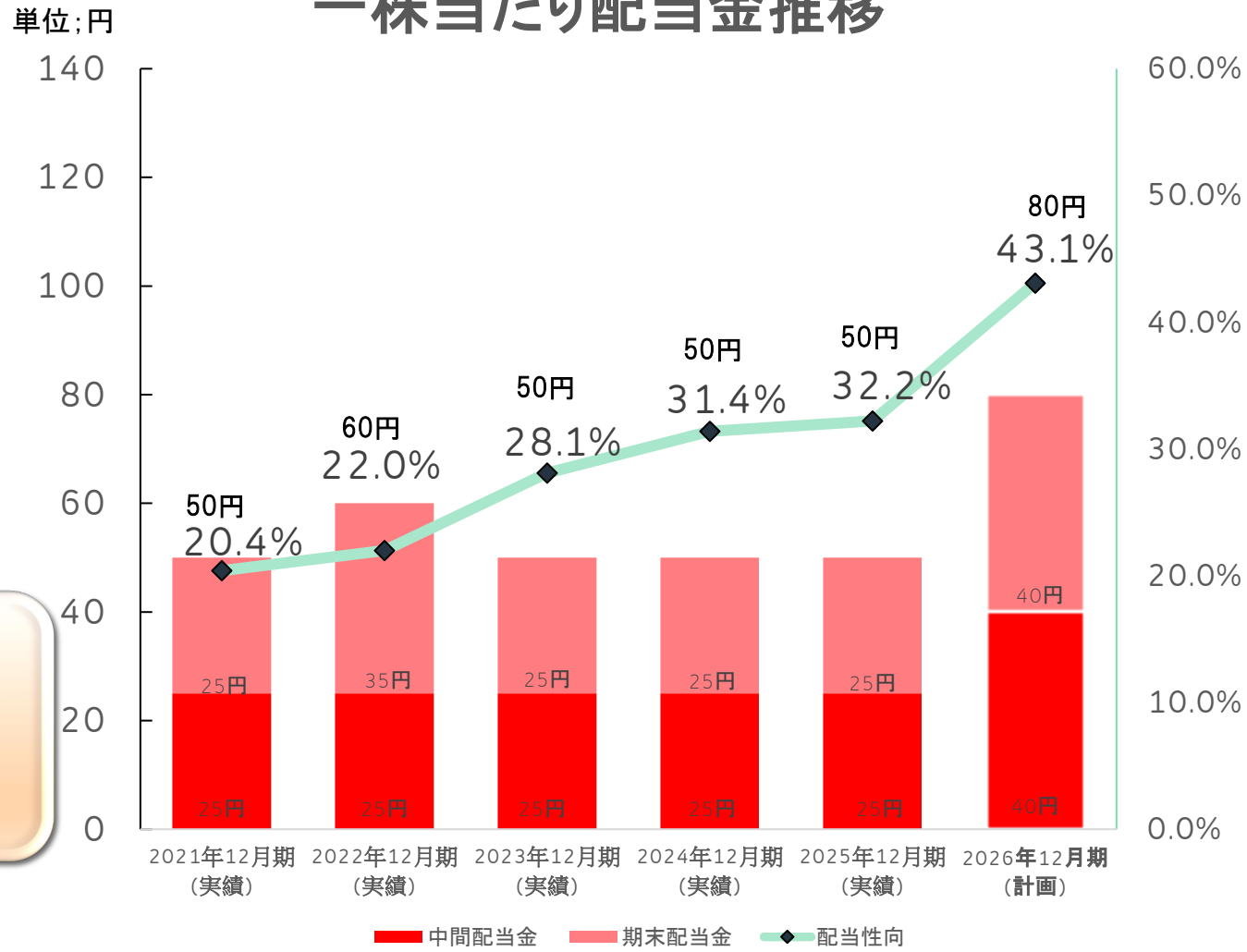
- ◆長期的な利益還元
- ◆配当性向40%を目安
- ◆設備投資と内部留保バランス

2025年12月期
年間50円
配当性向32.2%

2026年12月期
年間80円
配当性向約43.0%

中計期間は
増配を目指す

一株当たり配当金推移



サステナビリティ

◆ 人的資本経営と環境持続性への取り組みを当社の企業価値向上の重要なファクタと位置づけ、優先的に対応してまいります。

◆環境
・主力の真空機器において、圧縮空気を削減するための製品開発の他、製造での資源のリサイクルを通して、全ての排出量を削減を進めております。

◆地域
・主力工場がある岩手県の次世代人材育成プログラムへの協賛ほか、地域伝統芸能への協力やイベントなどに企業ぐるみで参加しております。

◆人材育成
女性活躍推進の取り組み
・有給休暇の取得促進、育児休暇からの復職率100%。
・現状の女性従業員比率約35%の更なる拡大のため、女性管理職（20%目標）の積極登用を行っております。

◆職場環境整備、エンゲージメント向上
・全職場でのフレックスタイム制を導入。
・地元中・高校生の工場見学会や出前授業（年2回）を実施。
工業系学校には実習用設備や製品の無償提供。

主要リスクと対応

市況

空気圧機器市場の技術革新
⇒単機能部品から複合機能部品への開発シフト
半導体及び電子部品の市況変化
⇒既存市場比率を変更、食品・医薬品関連等の開拓

製造

原材料供給の変化
⇒金属材料・ゴム原材料の調達先を分散化
加工・検査設備の革新性
⇒定期的な生産設備の入替と内製化率の向上

労働

人材確保
⇒地域での人材育成プログラム活用
中長期のエンゲージメント
⇒職場環境整備及び持株会制度や株式報酬制度の福利厚生

中長期の改革ビジョン

・ニーズ開拓と市場構築

・独自素材の製造
・最適化生産の検討

・労働集約型から
知的集約型製造へ

本資料に記載されている内容、数値目標等は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の内容、業績を保証するものではありません

IR問い合わせ先： 本社経営管理部

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-6-18
TEL 03-3759-1491
FAX 03-5741-7020

E-mail：planning@convum.co.jp